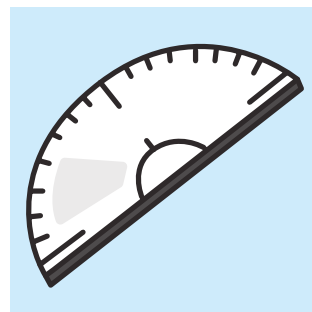
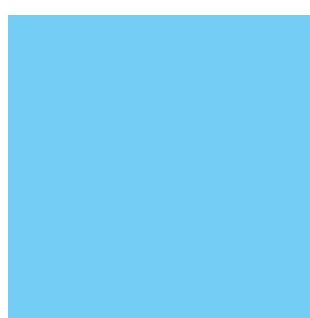
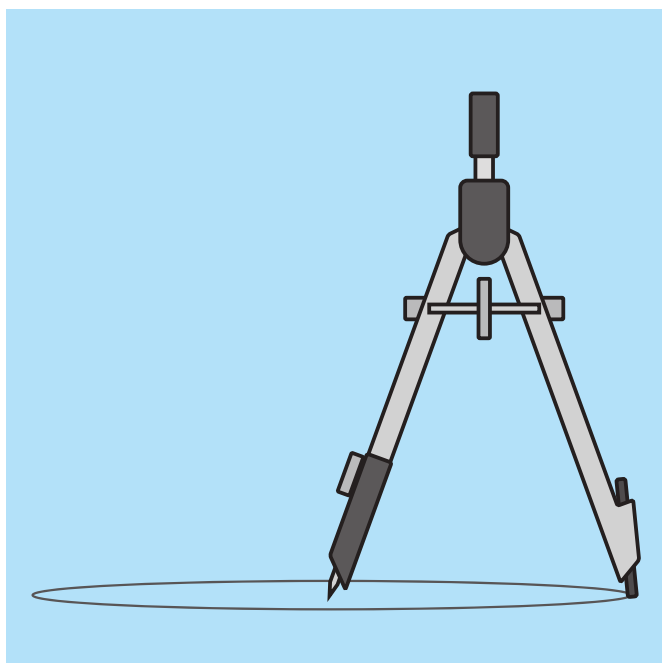
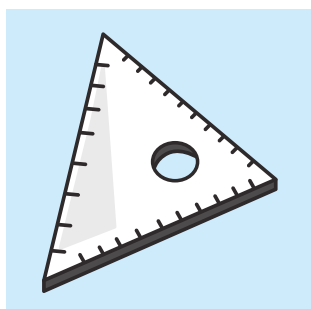


KISETU

JAPAN MECHANICAL DESIGN INDUSTRIES ASSOCIATION NEWS



- 令和8年度 通常総会 開催報告
- 令和8年度 機械設計技術者試験



no. **147**
2026



KISETU

JAPAN MECHANICAL DESIGN INDUSTRIES ASSOCIATION NEWS

no.147
2026

1. KISETU 目次
2. 令和8年度 通常総会 開催のご報告
4. 支部だより 中部支部
関西支部
中四国支部
九州支部
15. PRのページ 機械力学・材料力学 基礎徹底研修
16. 令和8年度 機械設計技術者試験のご案内
19. PRのページ 会員募集中(JMC)
20. PRのページ 会員募集中
21. 事務局よりお知らせ
22. 暑中お見舞い名刺交歓会

「機 設」一般社団法人日本機械設計工業会 会誌

令和8年7月25日発行 通巻147号

定価 1部 1,000円(送・税別)

編 集 「機 設」編集委員会

発 行 一般社団法人 日本機械設計工業会

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-4

TEL03-6222-9310 FAX03-6222-9315

発 行 人 齋田 善弘

編集制作 ダイワ企画(株)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-10

TEL03-3254-9231(代) FAX03-3254-9234



通常総会 開催のご報告

日 時

令和8年6月11日(木)
15:30~16:30

会 場

シェラトングランドホテル広島
広島県広島市東区若草町12-1

本総会は正会員総数56会員に対して出席会員31、委任状提出会員20の合計51会員であることから、定款第26条に規定する定足数に達しており、本総会が成立する旨の説明が行われました。

谷野孝副会長より開会宣言が行われ、続いて齋田善弘会長からは、日頃の会運営に対する協力と支援について謝意が述べられ挨拶がありました。

ご臨席賜った来賓の方々

経済産業省中国経済産業局 製造産業課 課長 黒木 里美様
日本機械設計業企業年金基金 常務理事 井上 雅博様

■来賓挨拶

ご来賓を代表して経済産業省中国経済産業局製造産業課 課長 黒木里美様よりご挨拶があり「中東情勢にともない、石油製品の需給バランスの目詰まりから不安を感じている向きもあるが、行政は丸丸となって不安払拭に向けて進めているところ。お困りごとなどがあればぜひ相談窓口にお声がけをいただきたい。産業機械は我が国の産業の柱でもあり、その礎となる機械設計業は極めて重要な役割を担っている。貴団体では機械設計技術者試験実施など、人材育成に積極的に取り組まれておられる。ますますのご活躍を期待しております」とのお言葉を頂戴しました。

■議決事項

本通常総会の以下4議案は、いずれも異議なく承認されました。

- 第1号議案 令和7年度事業報告書(案) 承認の件
- 第2号議案 令和7年度収支決算書(案) 承認の件
- 第3号議案 令和8年度事業計画書(案) 承認の件
- 第4号議案 令和8年度収支予算書(案) 承認の件

平田栄子副会長より閉会の辞が述べられ通常総会は滞りなく終了しました。



▲挨拶をする齋田会長



▲挨拶をする谷野副会長



▲齋田会長を議長に議事進行



▲来賓代表

経済産業省中国経済産業局
製造産業課 課長 黒木 里美様



▲平田副会長 閉会の挨拶

■講演会

通常総会に引き続き「JFEスチールにおけるC N・G X」と題してJFEスチール株式会社 専門主監 手塚宏之様にご講演をいただきました。鉄鋼業界とは切っても切り離せないC N（カーボンニュートラル）への取組み、まだ一般には耳馴染みのないG X（グリーントランスフォーメーション）について、わかりやすくご説明いただきました。司会進行は中四国支部 興南設計(株)森郁平社長にあたっていました。森社長お疲れさまでした。

■懇親会

齋田会長の挨拶と谷野副会長の乾杯の発声で懇親会の幕が開きました。中四国支部 (株)三協設計櫻井隆晶社長の司会で懇親会が進み、今回初めて工業会総会に参加される皆さんに壇上でご挨拶をいただき、即席の「お披露目会」となりました。また、講演会で質疑応答の時間が取れなかった関係で、手塚様にはこちらで質疑応答にあたっていました。これによりさらに聴衆の皆様の理解が深まったものと思います。

美味しいお料理に舌鼓を打っているうちにいつのまにか終わりの時間が近づいてきます。今回の総会担当となった松尾中四国支部長から参加者、運営にあたった各位への感謝の言葉が述べられ、楽しい懇親会は無事終了となりました。



▲懇親会で挨拶をする
齋田会長

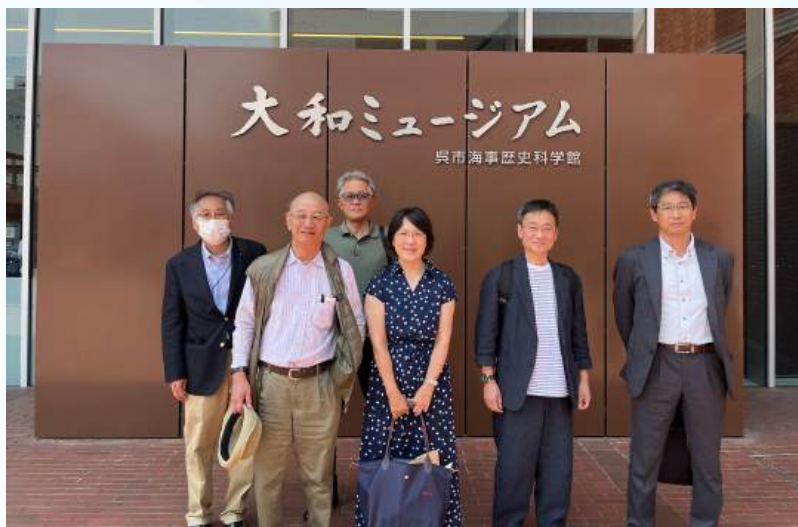


▲懇親会で挨拶をする
谷野副会長



▲懇親会風景

■有志による観光（呉湾艦船めぐりと大和ミュージアム）



▲総会翌日の有志による観光（呉湾艦船めぐりと大和ミュージアム）参加者

(一社) 日本機械設計工業会 懇親ゴルフコンペ開催報告

株式会社中央図研 執行役員 塩出 晶

令和8年6月12日、広島県東広島市にある「広島カントリー倶楽部 八本松コース」にて、(一社) 日本機械設計工業会 各支部対抗の懇親ゴルフコンペが6組19名にて開催されました。

梅雨の真っ只中で雨を心配しておりましたが、当日は見事な好天に恵まれ、清々しい空の下で気持ちよくプレーすることができました。

「広島カントリー倶楽部 八本松コース」は、「東の井上誠一、西の上田治」と並び称された名匠・上田治氏の設計により、昭和37年に開場した名門コースです。松林に美しくセパレートされた林間コースは、これまで数々のプロトーナメントの舞台ともなってきた由緒あるレイアウトで、フラットながらも戦略性に富んでいます。

中でもグリーンは評判通りに速く、私には距離も長く感じられ、狙ったボールがなかなか止まってくれない、大変難しいコースでした。

実を申せば、広島は私にとってゆかりの深い土地です。曾祖父は福山の出身で、幼い頃はよく遊びに連れて行ってもらいました。生まれは兵庫ですが、小学校の時分までは、加古川で祖母が営んでいたお好み焼き屋に入り浸り、私はほとんどお好み焼きで育ったようなものです。思えば、広島焼きは加古川というモダン焼きに近く、どこか懐かしい味わい。今回の遠征でも、二日続けて広島焼きに舌鼓を打ち、すっかり童心に返ったひとときでした。そんなわけで、広島の地でクラブを握ること自体に、不思議な縁を感じながらのスタートとなりました。

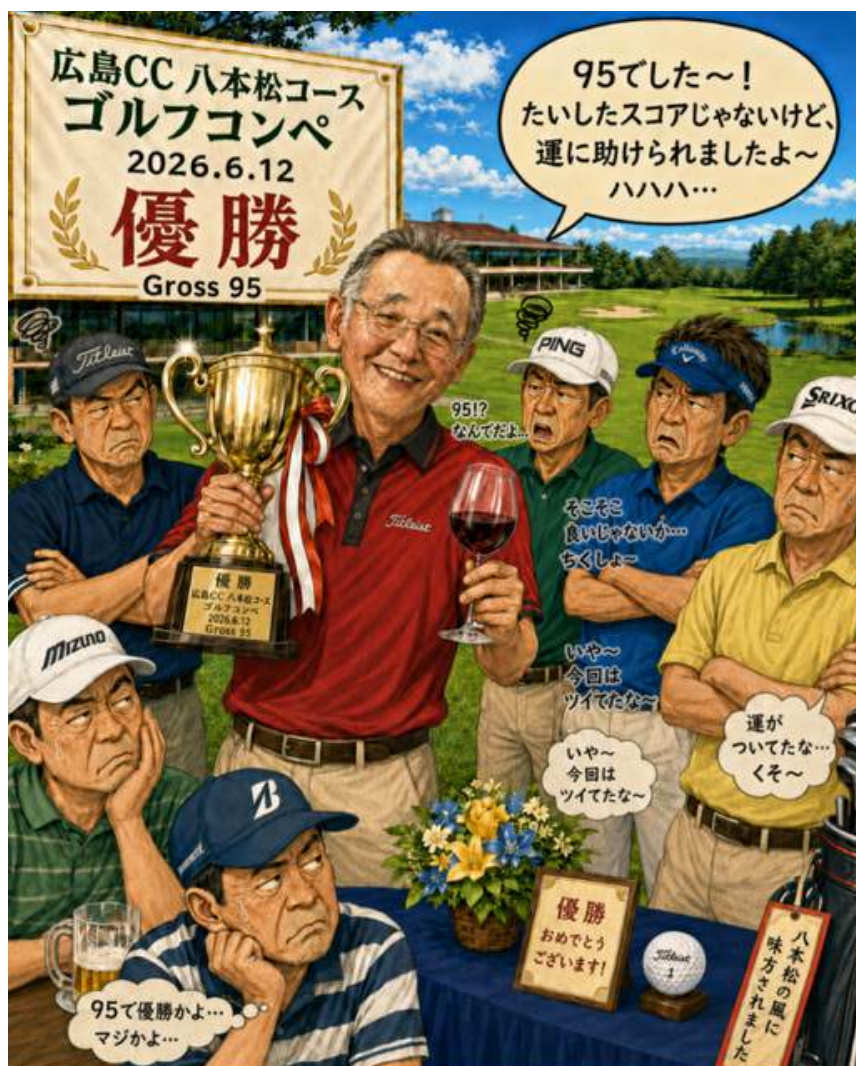


肝心のプレーはと申しますと、出だしの二ホールがトリプル、トリプルと散々なスコア。「今日は優勝どころではない、あっても飛び賞がせいぜいか」と、早々に肩を落としたものです。それでも、同伴の濱本さん、谷野さんと気さくに語らいながらのラウンドは実に心地よく、後半の出だしでチップインバーディーが決まると、お二人から「優勝あるかもよ!」とおだてられ、すっかりその気に。昼食でいただいた一杯のウイスキーも何よりの景気づけとなり、後半はようやく調子が出てまいりました。

そして、優勝の最大の要因は、ダブルペリア方式の大運に恵まれたことにほかなりません。スコアそのものは、欲を言えばもう少し上を狙いたかったところですが、そ

れでも優勝という結果は、やはり素直に嬉しいものです。同伴の皆様、そして運営にご尽力いただいた各支部の皆様に、心より御礼申し上げます。

次回以降も、各支部の皆様と「和気あいあいと楽しいゴルフ」をご一緒できますことを、心より楽しみにしております。



▲ AI で作成したカット

インド視察で見た現地のリアル

株式会社ダイセキ 金田 勇気

初めて訪れるインド

本記事では、インドの大学視察に参加したメンバーへのヒアリングをもとに、視察を通じて見えてきた現地の街の様子や、学生たちから受けた印象をまとめています。視察前は、「人口が多い国」という程度のイメージしか持っていなかったメンバーも少なくなかったようです。街並みや、そこで暮らす人々の様子まで具体的に思い描けていたわけではなかったものの、実際に現地を訪れたことで、その印象は大きく変わったといいます。

現地で見聞きした街の空気や人々の暮らしぶり、大学で学ぶ学生たちの姿からは、事前に抱いていたイメージとの違いがいくつも浮かび上がってきました。

現地を訪れたメンバーからは、「想像していたインドとはかなり違っていた」という感想も聞かれました。

想像以上にエネルギーのある国だった

インドは南アジア最大の連邦共和国で、人口は14億人を超え、世界最多の人口を持つ国として知られています。ヒンディー語と英語が広く使われており、多様な民族や文化が共存しています。

また、インドはIT産業のイメージが強い国ですが、近年では設計・エンジニアリング分野でも国際的な評価が高まっています。

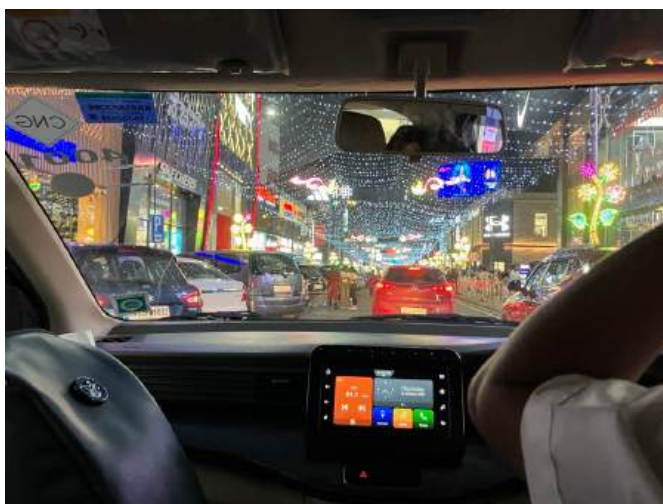
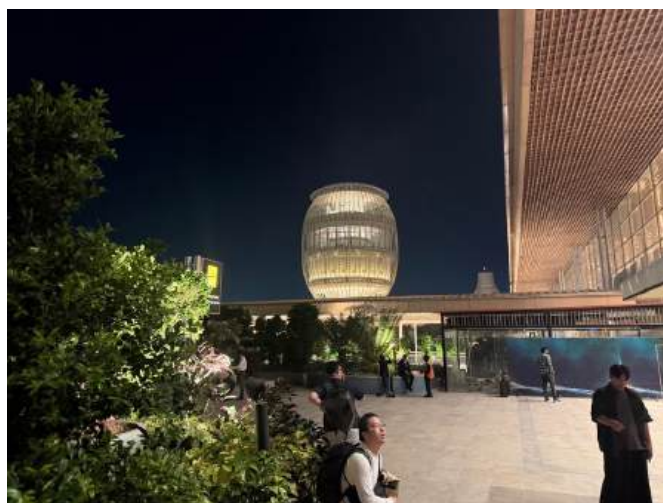
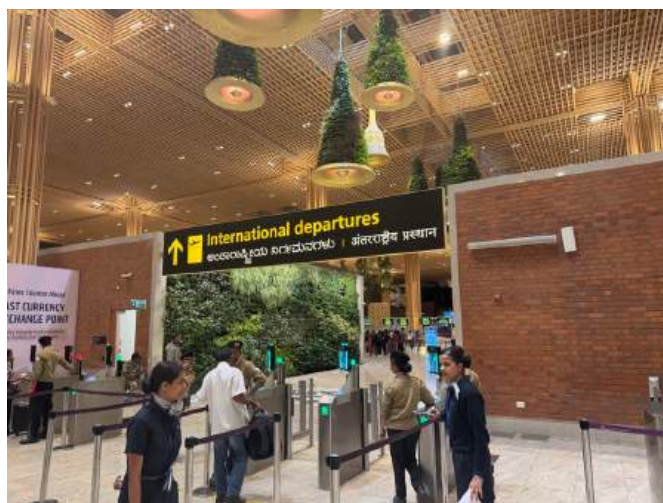
今回訪れた南インドのベンガルールは、世界的なIT企業や製造業の研究開発拠点が集まる技術都市として知られ、「インドのシリコンバレー」とも呼ばれています。現地に到着したのは深夜でした。それでも空港を出た瞬間にまず強く伝わってきたのは、街全体の熱量だったそうです。

蒸し暑い空気、どこからともなく漂うスパイスの香り。深夜にもかかわらず道路には多くの車やバイクが行き交い、人通りも途切れない。クラクションは絶えず鳴り、日本ではなかなか目にしない交通量だったといいます。「インドに来たな。」

視察に参加したメンバーの一人は、その瞬間、思わず心の中でそうつぶやいたそうです。

空港は想像以上に明るく整っており、近代的な雰囲気があったそうです。高層ビルや大きな商業施設も多く、“急成長している国”の勢いを随所に感じた一方で、そのすぐ近くには舗装されていない道路やゴミが目立つ場所もあり、整った景色と雑多な景色が隣り合う独特の空気があったそうです。

なかでも、現地の交通事情は強く記憶に残ったようです。



信号は少なく、車線の感覚も日本ほど明確ではありません。車は隙間を縫うように走り、クラクションが止まる時間はほとんどなかったそうです。さらに、牛や馬がごく自然に道路を歩いている光景にも驚かされたといえます。

最初は圧倒されたものの、しばらく眺めているうちに、「これがこの国の日常なのだ」と受け止める感覚に変わっていったそうです。

食事文化も、日本と比べるとまったく違った

食事も、日本と比べると大きく違いました。基本的にスパイスの効いた辛い料理が多い一方で、甘い味付けのものもあり、味の幅広さが印象に残ったそうです。現地では、ご飯にヨーグルトのようなものをかけて食べる料理もあり、日本ではあまり見かけない食文化に触れたとのことでした。

また、料理の量もとても多く、お皿が空きそうになると自然に料理が盛り足される場面もあったそうです。そうしたもてなし方にも、現地らしさが表れていました。なかには、注文した料理が想像以上に辛く、食べ切るのに苦労したというエピソードも聞かれました。

ただ、こうした違いを“困ったこと”としてではなく、“文化の違いとして面白い”と受け止めていた点は、今回の視察を語るうえで象徴的だったように思います。

現地の人たちとの距離感にも、日本との違いを感じたという声がありました。

スーパーで商品について尋ねた際、親切に教えてくれたのが店員ではなく、たまたま近くにいた一般の方だったという出来事もあったそうです。人との距離が近く、自然に声をかけ合うような雰囲気も、現地らしさの一つとして印象に残ったようです。





日本と比べると違う “学び方”

今回の視察の中心となったのは、現地大学の訪問でした。その中で特に強く語られたのが、学生たちの姿勢でした。明るく前向きで、質問にも積極的。真面目で勉強熱心だったという声が多く聞かれました。もちろん、日本の学生と重なる部分もありますが、“自分が学んだことを将来どう活かしたいか”を自分の言葉で語る学生が多かった点は、特に印象に残ったそうです。

また、大学そのもののスケールの大きさにも驚かされたといえます。

キャンパスは非常に広く、構内を車で移動するほどの広さがある大学もあったそうです。さらに特徴的だったのは、企業との距離の近さでした。

大学内には企業と連携したラボが複数あり、日本企業が提供した設備や研究施設も整備されていました。企業側も社員研修で利用しているそうで、“学び”と“実務”が地続きになっているような近さを感じたといえます。技術分野についても、単なる機械だけでなく、メカトロニクスやAIなどを自然に学んでいる点が印象に残ったそうです。

実際、学生からは「AIが機械設計にどのような影響を

与えるのか」といった質問も出たといえます。

AIやデジタル技術を特別なものとしてではなく、“当たり前前に存在する技術”として捉えている感覚には、日本とは少し異なる空気があったようです。

外に出ることで見えることがある

今回の視察を通じて、多くのメンバーが「行く前と後でインドに対する見方が大きく変わった」と話していました。

もちろん、日本の良さも改めて感じたそうです。街の綺麗さ、安全性、整理整頓、教育の丁寧さ。そうした日本の強みを再認識する機会にもなりました。

一方で、インドの持つ若いエネルギーや前向きな雰囲気、技術に向かう熱量から強い刺激を受けたことも事実です。

実際に現地へ行ってみると、ネットやニュースだけでは見えてこないことが数多くあります。

街の音や匂い、人々の表情、学生たちのまなざし。そうした現地ならではの空気に触れることで、自分たちの価値観も少しずつ揺さぶられていくのかもしれない。

AIやデジタル化が進み、ものづくりの形も大きく変わろうとしている今、技術者にとって「外を見ること」の重要性は、これまで以上に高まっているのかもしれない。

海外を見ることで、日本の良さにも改めて気づく。そして、日本とは異なる価値観や考え方に触れることで、自分たちの視野も広がっていくのだと思います。

今回のインド視察は、単なる海外訪問ではなく、視野を広げるきっかけになったといえそうです。



しまなみ海道について

株式会社三和設計 山下 昌敬

瀬戸内しまなみ海道は、広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶ全長約 60km の自動車専用道路で西瀬戸自動車道、生口島道路、大島道路からなり 10 の橋を通行します。



▲しまなみ海道

本四道路は神戸淡路鳴門自動車道・瀬戸中央自動車道もありますが、瀬戸内の多島美を楽しむのは、しまなみ海道が最高と思っています。橋オタクでなくても「吊橋」「斜張橋」「桁橋」など多彩な形式の橋は見る人のテンションが上がるのは間違いないです！！個人的には因島と生口島を結ぶ生口橋と生口島と大三島を結ぶ多々良大橋のフォルムがお気に入りです。



▲多々良大橋

1 時間で渡れる道のりを、あえて半日～1 日かけてのんびり巡るのが、しまなみ海道ドライブの本当の贅沢です。

四国に向けて最初の向島、因島にもいい所はたくさんあるのですが紙面の都合上、今回は割愛致します。

最初に紹介する生口島はしまなみ海道のほぼ中間になり、観光スポットは耕三寺博物館や平山郁夫美術館になります。耕三寺は大阪の元実業家・耕三寺耕三が母への感謝の思いを込めて建立された寺院で「母の寺」や「西の日光」とも呼ばれています。



▲耕三寺



▲未来心の丘

耕三寺の奥には未来心の丘（みらいしんのおか）は、広さ 5,000 平方メートルにもおよぶ白い大理石の庭園で、世界を舞台に活躍されている彫刻家 杭谷 一東 氏にその制作を依頼しているものです。丘なので少し登ることになりますがエレベーターも設置されていますので車椅子にお乗りの方も行くことができます。彫刻が大理石なので晴れの日に行くと、とにかく眩しいです。

次の島は大三島でここからは愛媛県になります。この島でご紹介したいのは日本総鎮守 大山祇神社です。御祭神は大山積大神一座。古事記・日本書紀には、「山の神」とあり、伊予国風土記には「御島に坐す。神の名は大山積…一名（またのな）を和多志の大神」とあって、山の神であると同時に、大海原の神、渡航の神とされています。



▲大山祇神社



▲御神木

本殿正面にそびえる御神木は「小千命－おちのみこと（乎知命）御手植の楠」と呼ばれ、大山積大神の子孫「小千命」によって植えられたと伝えるもので、その時代は神武天皇御東征前と云われています。樹齢は 2,600 年あまりだそうです。そのスケールに圧倒されます。

次は伯方島です。伯方の塩を思い浮かべるかもしれませんが今回は心癒されるスポット「ドルフィンファームしまなみ」です。

ここではしまなみの美しい景観の中で、イルカと触れ合うことができ、穏やかでのんびりとした時間を過ごすことができます。「イルカのふれあい施設」に向かっていると、イルカさんの声が聞こえてきます。この段階でテンションが上がります！



▲ドルフィンファーム

次は車で行けるしまなみ海道最後の島、大島です。この島では、しまなみ海道随一の絶景スポット「亀老山(きろうさん)展望公園」を紹介いたします。愛媛県今治市の大島南端に位置する標高 307.8 メートルの公園です。世界初の三連吊橋「来島海峡大橋」と瀬戸内海の多島美を一望でき、天気が良ければ西日本最高峰の石鎚山まで見渡せます。この展望台は少し変わっていて、建築家・隈研吾氏の設計で自然景観を守るため、建物を地中に配し屋根に樹木を植えた「見えない建築」となっています。実際に展望台に行くには山頂に向けてスリット状の通路を通ります。山頂の展望台はフラットになっており瀬戸内海を 360° 楽しめると共に、来島海峡大橋の眺めはその角度や距離感が他にはない素晴らしい風景が楽しむことができます。



▲亀老山展望公園通路



▲亀老山展望公園展望

最後にしまなみ海道最大の特徴についてお話致しますと日本で初めて海峡を横断できる自転車道になっていることです。島々を結ぶ道は全長約 70km。自転車で通行するなんてモノ好きだけと思われるかもしれませんが、海道のあちこちにレンタル自転車のスポットがありお子様も楽しむことができます。道沿いにはサイクリスト御用達のお店やコンビニも多く走りやすく「サイクリストの聖地」として外国の方々も楽しんでます。



▲サイクリングしまなみ

上の写真は 2 年に 1 度行われる「サイクリングしまなみ」スタート風景です。高速道路を規制して行う日本最大規模のサイクリング大会で国内外から約 7,000 名が参加されます。

今年は開催年ですがエントリーは終了していますので興味のある方は 2 年後、挑戦されてみてはいかがでしょうか！しまなみ海道は歴史、文化、グルメ、アクティビティ等、様々な体験が出来ます。素通りするのはもったいないです。瀬戸内の穏やかな気候もお迎えしてくれると思いますので、是非しまなみ海道にお越しいただいてお楽しみください！

北九州市について

株式会社西日本工業 吉原 正幸

発足当時 100 万を超える人口であったわがまち北九州市ですが、なんと 90 万を下回るという報道がされました。

この北九州市の現在の姿について記述したいと思います。

小学生の時に社会科の授業で学んだ北九州工業地帯は、日本の四大工業地帯の一つでそこに住んでいることに非常に誇りを持っていました。

かつては、鐵工中心の町として、さらには石炭の輸出港として日本一を誇り栄えました。

七色の煙と称し、産業の力強さを強調しておりましたが、これがいわゆる公害だとは後に知ってることでした。



しかしながら旧新日鐵のメイン工場が千葉の君津に移転したことと、石炭産業の斜陽化と共に衰退の一途をたどります。良くなったことは公害が一掃され、空気と海がきれいになったことでしょうか。



現在、北九州に本社機能があり頑張っている有名企業としては、TOTO、YASKAWA、ゼンリン、第一交通産業などがあります。



凋落一方のこの北九州で最近有名になったことといえば夜景です。
日本一だとのことです。
皿倉山を中心として、洞海湾の夜景は美しいです。
特に冬の寒さで震えながら見る夜景はとてもきれいです。



写真では多分、暗くてわかりにくいと思いますが KISETU の WEB 版を是非ご覧下さい。
また、現在では響灘地区の埋め立て地に多くの工場が進出してきています。
ブリヂストンが世界最大級のタイヤをここから輸出しています。
石油備蓄基地の近くで着床式の風力発電も日本最大の 25 基が稼働しています。



小倉は北九州の中心です。
一番にぎわっていますが、以前と比べると少し寂しいようです。



少し元気のよいところは門司港地区で門司港駅を始めとしたレトロ地区が賑わっています。



今後、この北九州地区はようになっていくのでしょうか。
また繁栄することを望んでいますが、美しい自然の海と山は残ってほしいと思っています。



「4 大力学」の壁を超えろ！

機械力学・材料力学 基礎徹底研修

～公式テキストの難所を「わかる」に変える。設計と資格の土台を築く～

※本研修は、オーム社発行「機械設計技術者のための 4 大力学」を主要テキストとして使用します。



こんなお悩みありませんか？

- ✓ 公式テキストを読んでも、
数式ばかりでピンとこない…
- ✓ OJT では学べず、
設計の根拠が曖昧なまま…
- ✓ 「わかったつもり」で、
実務を行っている不安がある…

本研修は、機械設計技術者試験のベースともなる「機械力学」「材料力学」について、**公式テキストの内容を徹底的に噛み砕き**、実務で使える「生きた知識」として習得することを目的とします。
難解な理論も、経験豊富な講師陣が丁寧に解説。
設計力向上と、その先の「**機械設計技術者試験**」合格の後押しとなることを目指します。

本研修の 3 つの特徴

1 公式テキストの「難所」を集中解説



独学では理解が難しい箇所や、若手がつまづきやすいポイントを厳選し、豊富な図解と事例で「なぜそうなるか」を徹底的に解説します。

2 「機械設計技術者試験」への橋渡し



当工業会主催の「機械設計技術者試験」の出題傾向を踏まえ、基礎理論が実際の試験問題にどの様につながるかを意識して講義を行います。

3 実務に活用できる演習



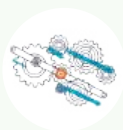
「ただ聞くだけ」では終わらせません。実務に近い演習を通じて、学んだ理論を「使う」練習を行い、確実な定着を図ります。

主な研修内容 (カリキュラム例)

(オーム社『機械設計技術者のための 4 大力学』準拠)

【第 1 部】機械力学

～動きと力学の関係を「見える化」する～



- なぜ「力のつりあい」が設計の基礎なのか？
- 力のモーメントは回転運動の基礎となる
- 運動方程式と仕事・エネルギー (動力計算の基礎)
- 振動の基礎 (振動を考慮した設計とは)

【第 2 部】材料力学

～「壊れない設計」の理論武装～



- 応力とひずみ (引張・せん断・曲げの応力状態)
- はりの曲げ (BMD・SFD の描き方と剛性)
- ねじりと座屈 (材料による破壊のメカニズム)
- 円筒と球の応力とひずみ (フープ応力とは？)



こんな方におすすめ！

- ✓ 設計の理論的裏付けに自信を持ちたい若手技術者 (1～5 年目)
- ✓ 機械設計技術者試験 (3 級・2 級) の受験を考えている方

主催・お問い合わせ

講習内容や費用等について、下記にお問い合わせ下さい



一般社団法人日本機械設計工業会 本部事務局

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-4 新川エフ2ビルディング4F

TEL : 03 (6222) 9310 FAX : 03 (6222) 9315

Email : kogyokai@luck.ocn.ne.jp URL : <https://www.kogyokai.com/>



機械設計技術者試験

機械設計技術者試験は、安全で効率のよい機械を経済的に設計する機械設計技術者の総合能力を認定し、機械設計技術者の技術力向上と社会的評価の適正な確立を図り、我が国機械産業の振興に寄与することを目的としています。また、平成10年度より追加された3級は、主に新人技術者、学生の技術水準を適正に評価することを確立し、機械設計技術者認定制度を機械設計技術者のほぼ全域をカバーした資格制度に発展させることを目的としています。

令和8年度は、令和8年11月15日（日）実施予定

◆ 1級試験実施の概要、および科目

機械及び装置の基本仕様決定に必要な計算、構想図の作成等の基本設計業務を行なえる能力に達した技術者を対象とした試験を行ないます。

1級試験科目時間割（試験時間 9：30～16：30）

※年度によって科目の組み合わせが変更になる可能性があります。

	時間	科目
第1時限	9：30～11：40	設計管理関連課題、機械設計基礎課題、環境経営関連課題
第2時限	12：40～14：40	実技課題（問題選択方式）
第3時限	15：00～16：30	小論文

1級試験科目

設計管理関連課題	機械設計に関わる管理・情報等に対する知識
機械設計基礎課題	機械設計の基本となる計算課題を含む知識
環境経営関連課題	機械設計の管理者として必要な環境・安全に対する知識
実技課題 （問題選択方式）	設計実務に関わる計算を主体とした問題が複数出題され、その中から指定された問題数を選択して解答
小論文	出題テーマから1つ選択し、1300～1600字程度の論文を作成

〔実技課題〕

└ 出題数 5題 3題選択

◆ 2級試験実施の概要、および科目 ※令和3年度から下記科目改定を実施

基本設計に基づき、機械及び装置の機能・構造・機構等の具体化を図る計画設計業務を行なえる能力に達した技術者を対象とした試験を行ないます。

※年度によって科目の組み合わせが変更になる可能性があります。

	時間	科目
第1時限	9：30～11：40	・機械設計分野 ・熱・流体分野 ・メカトロニクス分野 以上、3科目はマークシート方式
第2時限	12：40～14：40	・力学分野 ・材料・加工分野 ・環境・安全分野 以上、3科目はマークシート方式
第3時限	15：00～16：30	応用・総合は記述式解答方式

◆ 3 級試験実施の概要、および科目

※年度によって科目の組み合わせが変更になる可能性があります。

	時間	科目
第 1 時限	12:00 ～ 14:00	機構学・機械要素設計、流体工学、工作法、機械製図 全科目、マークシート方式
第 2 時限	14:20 ～ 16:20	材料力学、機械力学、熱工学、制御工学、工業材料 全科目、マークシート方式

◆受験に必要な実務経験年数

最終学歴		実務経験年数				
		1 級		2 級		3 級
		直接受験	2 級 取得者	直接受験	3 級取得者	
工学系	大学院・大学・高専専攻科	5 年	2 級取得後、 翌年から受験 可能	3 年	2 年	実務経験不問
	短大・高専・専門学校	7 年		5 年	3 年	
その他（上記以外）		1 0 年			7 年	

※ 1 級直接受験の場合、当団体指定の職務経歴書を提出していただき受験資格審査を受けていただく必要があります。

◆ 1 級直接受験手続き方法

1. 職務経歴書の提出 → 2. 審査料支払い → 3. 資格審査 → 4. 審査結果報告 → 5. 受験資格承認 → 6. 受験申請 (WEB 申請) です。

・ 当団体指定の職務経歴書の入手方法

原則、工業会ホームページ <https://www.kogyokai.com/> に接続しダウンロードして下さい。

或いはご希望により FAX・郵送でも対応させていただきます。

配布期間：工業会ホームページをご覧ください。

・ 提出方法

郵送・宅急便・スキャナで画像化して E メール送付可

提出期間：工業会ホームページをご覧ください。

・ 資格審査料 5,500 円（税込み）（支払方法は別途マニュアルにて）

※資格審査料は、資格審査が承認されない場合も返金されません。

※支払手数料等は、審査提出者の負担です。

・ 審査結果通知方法

審査料の入金を確認次第、速やかに審査を行い原則 E メールで通知、ご希望により FAX・郵送でも対応させていただきます。その際、承認された者には「承認 No.」を同時に通知いたします。

◆各級の受験料

1 級	33,000 円（税込み）
2 級	22,000 円（税込み）
3 級	8,800 円（税込み）



2026 年版 機械設計技術者試験問題集

一般社団法人 日本機械設計工業会 [編]

B5 判 248 頁 定価 3,300 円(税込)

ISBN978-4-274-23491-0

本書は (一社)日本機械設計工業会が実施・認定する技術力認定試験 (民間の資格)「機械設計技術者試験」1 級、2 級、3 級について、令和 7 年度 (2025 年) 11 月に実施された試験問題の原本を掲載し、機械系各専門分野の執筆者が解答・解説を書き下ろして、(一社)日本機械設計工業会が編者としてまとめた公認問題集です。合格への足がかりとして、試験対策の学習・研修にお役立てください。



3 級 機械設計技術者試験過去問題集

—令和 5 年度/令和 4 年度/令和 3 年度—

一般社団法人 日本機械設計工業会 [編]

B5 判 232 頁 定価 3,080 円(税込)

ISBN978-4-274-23384-5

本書は (一社)日本機械設計工業会が実施・認定する技術力認定試験 (民間の資格)「機械設計技術者試験」3 級について、過去 3 年 (令和 5 年度、令和 4 年度、令和 3 年度) に実施された試験問題の原本を掲載し、機械系各専門分野の執筆者が解答・解説を書き下ろして、(一社)日本機械設計工業会が編者としてまとめた公認問題集です。3 級の試験対策に的を絞った本書を学習・研修にお役立てください。



機械設計技術者試験準拠

機械設計技術者のための基礎知識

機械設計技術者試験研究会 [編]

B5 判 392 頁 定価 3,960 円(税込)

ISBN978-4-274-22937-4

(一社)日本機械設計工業会が主催する「機械設計技術者試験」には、本書の 9 科目が含まれています。機械系の学生が学ぶべき必須の 4 大力学 (材料力学、機械力学、流体力学、熱力学) をはじめ、機構学・機械要素設計、機械を制御する制御工学、設計の基礎となる工業材料、設計の基礎となる工作法、機械製図の 9 科目です。本書は、試験 9 科目の基礎・基本、CAD/CAM をわかりやすく解説し、各章末に試験対策用の演習問題を掲載しています。力学など計算問題が多い分野は、本文中に例題を多く取り入れています。



機械設計技術者のための 4 大力学

朝比奈奎一 [監修] / 廣井徹磨・青木繁・大高敏男・平野利幸 [共著]

A5 判 352 頁 定価 3,080 円(税込)

ISBN978-4-274-22933-6

(一社)日本機械設計工業会が主催する「機械設計技術者試験」に対応できる構成を主眼とし、初級技術者や機械設計を学ぶ学生のために、機械力学、材料力学、流体力学、熱力学をわかりやすく解説。「機械設計技術者試験」対策として、各章末に「演習問題」、巻末に「解答」を掲載しています。

オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町 3-1

◎ 本体価格の変更、品切れが生じる場合もございますので、ご了承ください。

◎ 書店に商品がない場合または直接ご注文の場合は下記宛にご連絡ください。

TEL 03-3233-0644 / FAX 03-3233-3440

<https://www.ohmsha.co.jp/>



新入会募集中!

機械設計技術者1級・2級のみなさまへ

会員限定サービス 1級小論文対策オンライン講座開設

日本全国から機械設計技術者の皆さんが、企業の枠組みを超え、機械設計技術の向上を目指し参加されています。
機械設計技術者1級・2級取得者の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

JMC(日本機械設計技術者クラブ)は、(一社)日本機械設計工業会が主催する機械設計技術者試験1級および2級取得者に入会資格が与えられる機械設計のプロが集まる組織です。

試験対策・基礎学習に役立つ教材・講義動画

【増補】機械工学の要点



日本機械設計技術者クラブ(JMC)では機械設計技術者のための学習書
「機械設計技術者試験に準拠した【増補】機械工学の要点」を販売しております。
機械設計技術者試験受験対策はもちろん、機械工学基礎学習用教材としても
お勧めです。

- 本体価格 3,000円(+税300円)
- B 5 判 232ページ
- 送料 344円(着払い)

【講義動画】機械力学・機械力学基礎

学習書(機械設計技術者試験に準拠した
【増補】機械工学の要点)に準拠した
「材料力学基礎」および「機械力学基礎」
講義動画を販売しております。



▶ 10分程度の試験動画を
ご覧いただけます



▶ 10分程度の試験動画を
ご覧いただけます



noteアカウント《JMC》機械設計技術者試験対策コンテンツ

https://note.com/jmc_text_lecture よりお求めください。

機械設計技術者試験受験対策はもちろん、機械工学基礎学習用教材としてもおすすめです。
上記ページでは10分ほどの試験動画も公開しておりますので、ご購入前にぜひご覧ください。



参考書・講義動画とも決済手段等、ご購入に際してのお問合せは text.lecture@gmail.com にてお受けいたします。



日本機械設計
技術者クラブ

Japan
Mechanical Designers
Club

✉ お問合せ

info@jmclub.org

🌐 ホームページ

<https://www.jmclub.org/index.html>

日本機械設計技術者クラブ

🔍 検索

一般社団法人 日本機械設計工業会 は、我が国唯一の機械設計業界の公益法人として認可され、さまざまな活動を通じて機械設計業のさらなる発展に寄与しています。

会員募集中!

入会せずにはいられない!



メリットいろいろ!

企業年金基金・生命保険への加入

当工業会のスケールメリットを生かして、企業年金基金や生命保険への加入ができます。いざという時の備えとなります。

セミナー・講習会・研修

会員料金で人材育成・経営基準を強化するための専門情報や技術情報が入手できます。

試験制度

機械設計技術者1級・2級・3級認定試験を実施。設計技術者の社会的地位向上を図ります。

経営者研修

アウトソーシングの時代に向け、機械設計業の経営者の研鑽を積み、経営改善・発展を図ります。

機関誌KISSETU

景況調査・各種アンケート結果・企業情報等が掲載された機関誌KISSETUを配布。日々の活動に役立ちます。

ビジネスチャンス

会員同士の交流を通じて幅広い情報を得ることができます。ビジネスチャンスが広がり、企業の発展につながります。

詳しくは工業会ホームページをご覧ください

<https://www.kogyokai.com>

入会の申し込み お問い合わせは

関東支部事務局 〒104-0033 東京都中央区新川2丁目6番4号新川エフ2ビルディング4階
中部支部事務局 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目14番4号エグゼ丸の内ビル6階606号室
関西支部事務局 〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目3番19号東洋ビル本館3階312号
中・四国支部事務局 〒737-0807 広島県呉市江原町12-30
九州支部事務局 〒806-0067 北九州市八幡西区引野1-2-14

TEL 03-6222-9310 FAX 03-6222-9315
TEL 052-253-5117 FAX 052-253-5127
TEL 06-6359-0788 FAX 06-6359-0778
TEL 0823-27-8640 FAX 0823-27-8641
TEL 093-622-6711 FAX 093-622-6712

お知らせ

下記、新入会員と所在地変更がありましたのでお伝えします。どうぞよろしくお願いいたします。

■新入会員

●中部支部

会社名： 株式会社リバーヘッドシステムズ
所在地： 〒 920-8203
石川県金沢市鞍月 2-2 石川県繊維会館 3F
代表者： 代表取締役 川崎 恵字氏



●賛助会員

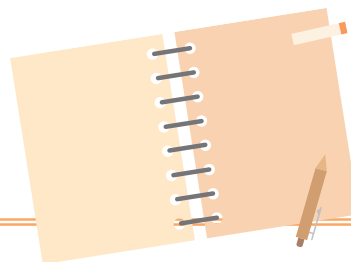
会社名： キャディ株式会社
所在地： 〒 111-0053
東京都台東区浅草橋 4-2-2 D'sVARIE 浅草橋ビル 6F
代表者： 代表取締役 加藤 勇志郎氏



■所在地変更

●九州支部

会社名： 近鉄エンジニアリング(株)福岡支社
新： 〒 836-0041 福岡県大牟田市新栄町 5-2
※ TEL・FAX は変更ありません (4 月 13 日から業務開始)。



暑中お見舞い

申し上げます

希望ある未来をめざして



一般社団法人 日本機械設計工業会

総合エンジニアリング
株式会社
カンセツ

代表取締役 谷野 友孝

〒550-0013 大阪市西区新町3丁目4番21号
TEL 06-6554-3011
FAX 06-6543-1488
http://www.kansetsu.co.jp/

エース設計産業株式会社

相談役 西澤 俊光
代表取締役社長 馬渕 智幸

本社 〒540-0031 大阪市中央区北浜東四番三三三号
TEL 06-6945-1708 (代)
FAX 06-6945-1707
http://www.ace-tech.co.jp

エスケイシー株式会社

相談役 石黒 清隆

〒108-0023 東京都港区芝浦2丁目14番13号
MCK芝浦ビル
TEL 03-3453-4361 (代)
FAX 03-3453-4575
E-mail: happy-j01@skc-kt.co.jp
http://www.skc-kt.co.jp/



株式会社アビリカ

代表取締役 平田 栄子

〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町12番地2
TEL 03-6859-1091
FAX 03-6859-1567
https://www.abilica.co.jp



株式会社 清水設計事務所

代表取締役 清水 俊純

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通4丁目2番20号
三宮中央ビルディング11F
TEL 078-221-8700 (番代)
FAX 078-221-8701
E-mail: info@smdo.co.jp
https://www.smdo.co.jp



三共技研工業株式会社

代表取締役社長 山崎 輔

〒235-0036 横浜市中区中原1丁目1番31号
TEL 045-772-0012
FAX 045-772-0084
http://www.sangji.co.jp



株式会社 ケイテック

代表取締役 金子 倫司

〒458-0801 名古屋市中区緑区鳴海町字本町53-7
TEL 052-221-3221 (代)
FAX 052-221-0074
E-mail: info@k-techne.jp
http://www.k-techne.jp



近鉄エンジニアリング株式会社

代表取締役社長 武内 弘光

本社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋2丁目2番5号(小山ビル)
TEL 06-6220-9316 (代表)
FAX 06-6220-9317
http://www.kintetsu-eng.co.jp
E-mail: takeuchi@kintetsu-eng.co.jp

竹田設計工業株式会社

代表取締役会長 竹田 健司

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2丁目7番36号
TEL 052-569-8800 (代)
FAX 052-569-8809
E-mail: kenji-takeda@takeda-dsn.co.jp
http://www.takeda-dsn.co.jp



株式会社 ダンサン

代表取締役 谷野 友孝

〒650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町95番地
TEL 078-334-0831
FAX 078-556-3002
http://www.daisetsu.jp/



大興グループ
株式会社 ダイコーテクノ

代表取締役社長 濱本 英亮

本社 広島市中区東平塚町1-14 大興平塚ビル
〒730-0026 TEL 082-241-7277
FAX 082-241-7276
E-mail: hamah@daikonet.gr.jp
http://www.daikonet.gr.jp

株式会社伸栄設計

代表取締役 眞鍋 伸二

〒790-0813 愛媛県松山市萱町2-1-11
TEL 089-933-9008
FAX 089-933-9006
URL: http://www.shine-design.co.jp



株式会社 中央図研

代表取締役 柳田 雅史

本社 〒四六〇〇〇五 名古屋市中区古渡町15番20号
TEL 052-333-12100(代表)
FAX 052-333-12461
http://www.chuozuken.co.jp

株式会社中央エンジニアリング

代表取締役会長 齋田 善弘

〒1020083 東京都千代田区麹町4-15-17
麹町パークハウスビル
TEL 03-5216-4117(代表)
FAX 03-5216-4118
https://www.chuo-eng.co.jp/
E-mail: yoshihiro-saita@chuo-eng.co.jp

株式会社タマディック

代表取締役社長 森實 敏彦

〒1600022 東京都新宿区新宿六丁目24番16号
TEL 03-3232-1515(代)
https://www.tamadic.co.jp

TAMADIC



株式会社 フジ機械設計事務所
代表取締役社長 川上 米友

〒710-0031 岡山県倉敷市有城662番地の2
TEL 086-1428-1775
FAX 086-1428-1775
E-mail: y.kawakami@fuj-mnd.co.jp
https://www.fuji-mnd.co.jp

株式会社ヒラテ技研

取締役会長 平手 久徳
代表取締役社長 山田 香織



〒460-0003 名古屋市中区錦1-16-15
いちご名古屋錦シテイビル9F
TEL 052-222-1855
www.hirate.com
拠点: 犬山 静岡 豊田 東京 福岡 伊勢

日本機械設計業企業年金基金

理事長 平田 栄子

〒1030011 東京都中央区日本橋大伝馬町十四-1
住友生命日本橋大伝馬町ビル三階
電話 〇三(三六六)九五〇一
FAX 〇三(三六六)九五〇三

Design City Japan Ltd.

代表取締役 加治 耕二
相談役 小野 眞六



〒871-0001 大分県中津市大新田440-16
TEL 097-912-4974
FAX 097-912-4664
E-mail: contact@designcity.jp
https://www.designcity.jp



株式会社 ワゴエンジニアリング
代表取締役 清水 千備

本社 〒7370823 広島県呉市海岸4丁目13番26号
TEL 0823-2518500
FAX 0823-254947
E-mail: shimizul@wage-eng.com



代表取締役 猪上 将
株式会社 メカニックス

〒9360803 富山県滑川市栗山3600
TEL 076-1471122
FAX 076-1471122
E-mail: t.hinoue@mechanics.co.jp
URL: http://www.mechanics.co.jp



株式会社 メイプルソフト
代表取締役社長 松尾 達憲

HEAD OFFICE
〒7330002 広島市西区楠本町1丁目10番17号
SATELITE OFFICE
〒1050627 東京都港区虎ノ門4丁目3番1号
TEL 082-1532-0205
https://www.maple-soft.co.jp
E-mail: partner@maple-soft.co.jp

株式会社星機械設計

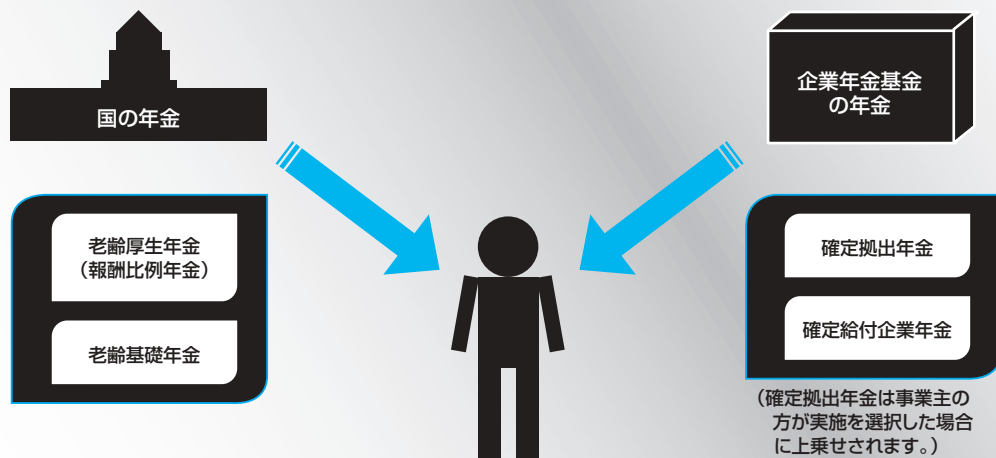
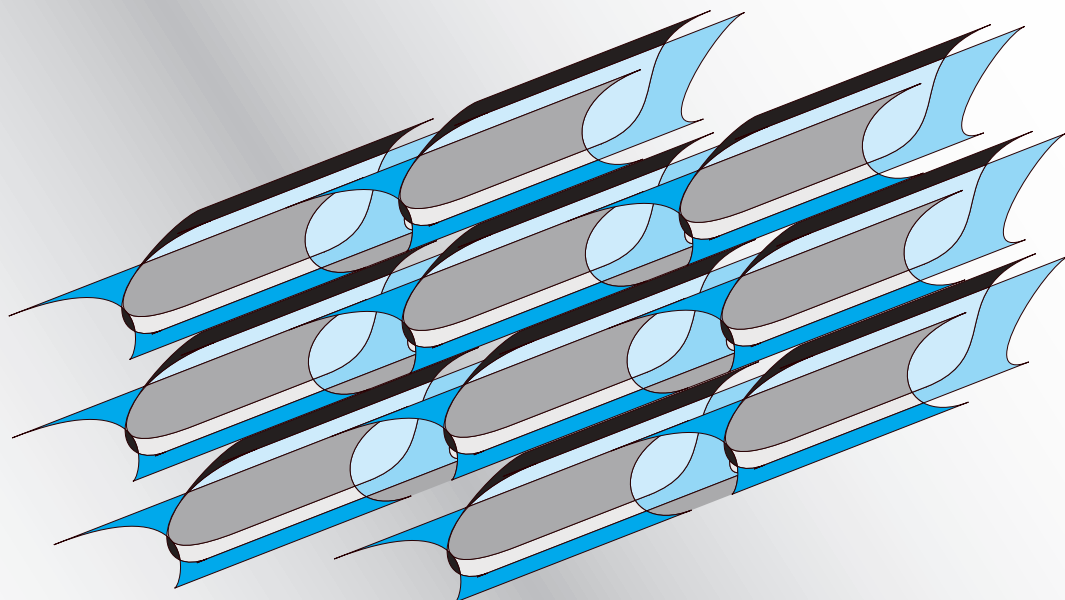
代表取締役 星 照幸



〒963-1165 福島県郡山市田村町徳定字才竹18-3
TEL 024-9441434
FAX 024-94416714
E-mail: t.hoshi@hmdinc.co.jp
URL: https://www.hmdinc.co.jp



「企業年金基金」で 安心な職場、豊かな老後。



国の年金に加えた年金の受給ができます

◎ 福祉事業も実施しています

種 類	支給の時期	金額
結婚祝金	加入期間1年以上の加入者が結婚したとき (女性は退職後3ヶ月以内を含む)	10,000円
出産祝金	加入期間1年以上の加入者又はその配偶者が 出産したとき(女性は退職後6ヶ月以内を含む)	1児10,000円
死亡弔慰金	加入期間1ヶ月以上の加入者が亡くなったとき	加入期間3年未満…20,000円 加入期間3年以上…30,000円
保養施設の 利用補助	本人・家族が指定する施設を利用したとき	1人1泊2,000円



Pension Fund of Japan Machinery Design
日本機械設計業企業年金基金

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号
住友生命日本橋大伝馬町ビル3F

TEL.(03)3661-9501(代)
FAX.(03)3661-9503



KISETU

発行所 一般社団法人 日本機械設計工業会
東京都中央区新川2-6-4 新川エフ2ビルディング4階
TEL.03-6222-9310

令和8年7月25日 発行 定価 1,000円
通巻147号(含消費税、送料別)